

指定管理業務点検・評価シート（令和元年度業務）

令和2年7月31日

施設名	鳥取県立倉吉未来中心	所在地	倉吉市駄経寺町212-5
施設所管課名	文化政策課	連絡先	0857-26-7839
指定管理者名	公益財団法人鳥取県文化振興財団	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日

1 施設の概要

設置目的	人と人との交流を促進し、地域の活性化を図るため。
設置年月日	平成13年4月21日
施設内容	○敷地面積：21,117.63㎡ ○建物面積：16,401.81㎡ ○施設内容：大ホール（最大1,503席）、小ホール（最大310席）、第1～第10楽屋、リハーサル室、第1、第2練習室、セミナールーム1～9、アトリウム、団体事務局サロンほか
利用料金	http://cms.sanin.jp/p/miraichushin/2/3/
開館時間	午前9時～午後10時
休館日	○毎月第1、3、5月曜日（当該月曜日が休祝日の場合は、その翌日の休祝日でない日） ○年末年始（12月29日から1月3日まで） ○施設・設備の保守点検を行う日

2 指定管理者が行う業務

委託業務の内容	①施設設備の保守管理及び修繕 ②施設の保安警備、清掃等 ③管理施設の利用の許可、施設利用料の徴収等に関する業務 ④その他施設の管理に必要な業務 ⑤倉吉未来中心を利用した文化芸術の振興に関する業務 ⑥地域との連携
---------	--

3 施設の管理体制

（令和2年3月1日現在）

管理体制	正職員：13人、嘱託職員1人、非常勤職員：4人、臨時的任用職員：1人〔計19人〕
	館長（正職員1） <ul style="list-style-type: none"> 総務部〔事務・施設利用・文化事業実施〕 （正職員5、非常勤4、臨時1） ※県民文化会館駐在職員含む（非常勤1） 技術管理部〔舞台技術・施設管理〕 （正職員7、嘱託1）

4 施設の利用状況

利用者数（人）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	元年度	16,740	12,310	17,810	11,298	23,974	14,012	21,272	22,288	11,963	9,688	13,761	4,276	179,392
30年度	9,949	10,000	12,682	11,550	11,337	14,121	20,941	16,602	15,887	10,901	13,025	16,264	163,259	
増減	6,791	2,310	5,128	△252	12,637	△109	331	5,686	△3,924	△1,213	736	△11,988	16,133	

利用料金収入（千円）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	元年度	6,568	3,504	3,478	3,472	5,513	3,340	3,678	2,849	3,280	2,158	2,056	1,647	41,543
30年度	6,337	2,108	2,537	4,372	3,914	3,054	3,011	4,120	4,534	1,878	2,231	3,239	41,335	
増減	231	1,396	941	△900	1,599	286	667	△1,271	△1,254	280	△175	△1,592	208	

5 収支の状況

(単位：千円)

区 分		元年度	30年度	増 減	
収入	事業収入	利用料金収入	41,543	41,335	208
		小 計	41,543	41,335	208
	事業外収入	県委託料	127,339 (124,058)	97,629 (91,922)	29,710 (32,136)
		倉吉市委託料	55,319 (52,243)	78,404 74,321	△ 23,085 (126,564)
		手数料・使用料収入	4,961	4,741	220
		雑収入等	1,243	629	614
	小 計	188,862	181,403	7,459	
計	230,405	222,738	7,667		
支出	人 件 費	83,145	87,308	△ 4,163	
	管理運営費	140,904	125,640	15,264	
	計	224,049	212,948	11,101	
収 支 差 額		6,356	9,790		

6 労働条件等

確認項目	状況				備考	
	正職員	非常勤職員	嘱託職員 (再雇用)	臨時職員		
雇用契約 ・ 労使協定	労働条件の書面による提示	・職員就業規則 ・労働条件通知書	・非常勤職員就業規則 ・労働条件通知書	左記に準じる	労働条件通知書 ※書面の名称を記入	
	就業規則の作成状況	作成・届出済	作成・届出済	—	作成・届出済 ※常時10人以上の労働者を雇用する場合は作成、届出が必要	
	労使協定の締結状況	・時間外労働・休日労働に関する協定書			※労働基準監督署長への届出が必要な協定の有無	
労働時間	所定労働時間	8時間			※幅がある場合は上限、下限を記入	
	時間管理の手法	自己申告、使用者の現認			※タイムカード、ICカード、自己申告、使用者の現認などの別を記入	
	休暇、休日の状況	<ul style="list-style-type: none"> 概ね4週間当たり8日間の週休日 国民の祝日に関する法律に規定する休日数（土曜日と重複する日を除く） 年末年始（12/29～1/3） 	<ul style="list-style-type: none"> ・年次有給休暇 ・その他の休暇 	<ul style="list-style-type: none"> ・年次有給休暇 ・その他の休暇 	<ul style="list-style-type: none"> ・年次有給休暇 ・その他の休暇 	※幅がある場合は上限、下限を記入
給与	給与金額	306千円	164千円	187千円	144千円	※平均月額を記入
	最低賃金との比較	適	適	適	適	※適否を記入
	支払い遅延等の有無	無	無	無	無	※有無を記入
安全衛生	一般健康診断の実施	年1回				
	産業医の選任	選任の要否：否	選任状況：なし		※規模の要件あり	
	安全管理者の選任	選任の要否：否	選任状況：なし		※業種・規模の要件あり	
	衛生管理者の選任	選任の要否：否	選任状況：なし		※規模の要件あり	
	安全衛生推進者（衛生推進者）の選任	選任の要否：要	選任状況：総務課担当職員より選任			※業種・規模の要件あり

7 サービスの向上に向けた取組み

区 分	取 組 み 内 容
利用申込 利用促進	<p>○県内の文化芸術活動推進と大ホールの利用促進を図るため、大ホール割引プランを継続した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大ホール直前割引（利用実績：8件） ・大ホール4・5月平日割引プラン【利用実績：0件】 <p>○利用促進を継続して行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホールを文化・芸術事業のために利用した過去の利用者へ、抽選申込受付の案内を発送し、次回の利用申込みを促進した。 ・キャンセルによるホール空き情報を、ホームページやSNSを活用しお知らせした。 <p>○催事内容によって開館時間外対応や臨時開館など利用者の利便性を考慮し柔軟に対応した。</p>
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・会館のホームページ、Facebook、Instagram、Twitterを活用し、タイムリーかつ親しみやすい情報発信に努めた。特に、Instagramにおいては着実にフォロワーが増えており、会館の情報媒体として認知されつつある。 ・倉吉未来中心でのイベント情報を、各種情報誌やソーシャルメディアを活用し、県内外へ広く発信した。（財団情報誌Arte、財団友の会メール会員、Facebook、関西文化.com、中部地域生活情報誌くららなど）特に、ウェブ広報については掲載無料のイベントサイト（「いこーよ」「ジャングルズーム」など）を積極的に活用し、情報の周知に努めた。
新たなサービス	<p>従来から実施しているサービスを継続するとともに、令和元年度は下記のサービスを導入し、利用者の利便性を図った。</p> <p><令和元年度から始めた新規サービス></p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来からの館内が分かりにくいというご意見に対し、来館者の動線に合わせた場所にユニバーサルデザインを意識した施設案内表示を増設した。 ・アトリウムの一隅に「中部1市4町の文化・観光情報コーナー」を新設し、来館者が中部地区の情報を収集できる場所とした。 ・セミナールーム2の壁にスクリーンを常設し、施設利用者は無料で使用できるようにした。 ・館内のWi-Fiスポットを増設したことにより、ほぼ全館でのWi-Fi環境が整備され、セミナールーム等でのWEB会議等にも対応できるようにした。 ・利用後のゴミの持ち帰りが困難な利用者のために、有料の「ゴミ回収サービス」を開始した。 ・プロジェクターを使用した施設利用が増加しており、利用者のニーズに応えるため移動式プロジェクターを1台購入し、貸出台数を増やした。 ・施設を利用して様々な活動をされている利用者の情報発信の場として、アトリウムに「みんなの活動掲示板」を設置した。 ・これまで、一部の女性用トイレにトイレシートクリーナーを設置していたが、衛生環境改善のため全ての女性用トイレに整備した。 ・新たにアイスクリームの自動販売機を設置し、利用者の多様な嗜好に対応した。
アンケート の実施	<p>施設内にメッセージBOXを設置するとともに、施設利用者にアンケート（施設利用完了報告書）を実施することによって、一般来館者、施設利用者の意見を求めた。</p>
運営懇談会 の開催	<p>地域の賑わい創出のための事業等への取組や、施設利用のサービス向上のための意見を聴くための運営懇談会を年2回実施した。</p>
イベント 相談窓口	<p>施設利用者や文化活動者等からのイベント等の企画立案・広報・運営・舞台技術に関する相談などに応じた。（2件）</p>
舞台技術支援	<p>県内の舞台技術者の人材育成及び創作活動の普及啓発による文化振興促進のため、文化活動者、教育機関、公立文化施設等に対して、舞台技術（ソフトウェア）及び舞台関連設備（ハードウェア）について相談、助言、情報提供、指導等を実施した。（教育機関等1件、公立文化施設1件、社会福祉法人2件：計4件）</p>
舞台技術講座 の開催	<p>中部地区の高等学校演劇部員に対し、舞台技術基礎知識の習得機会として座学及び実技による舞台技術講座〔照明、音響、舞台の3部門〕を開催した（2回：参加者数18名）。元俳優による監修の元、模擬本番を行い前回より実践的な講座とした。</p>

8 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内にメッセージBOXを設置 ・施設利用完了報告書に利用者の意見を求める欄を設置 ・電話、FAX、Eメールによる意見等の受付 ・運営懇談会の設置・開催 ・県への「県民の声」による意見受付
------------	---

利用者からの苦情・要望	対応状況
セミナールームのスクリーンが設置されている事がHPに掲載されていれば持参しなくて済んだ。	公式HPに掲載しご案内を開始した。
鏡がほしい。	練習室1に大きな鏡を備え付けた。
セミナールーム6のスポットライトの1つが点灯しない。	電球を取り替えた。
冷房の効きが悪いため入室15分前から冷房をかけていただきたい。	原因を調査した結果空調機の不具合が判明したため修理した。
練習室2のスリッパが悪くなっている。換気が悪くて入ったときの臭いがきつく咳き込む人がいる。	室内クリーニングとスリッパの交換を行った。
セミナールーム1に行く通用口が喫煙所となっているが、設置するなら人の通行しない場所にしてほしい。	喫煙コーナー設置場所の見直しを行い、建物から離れた場所へ移設した。

利用者からの積極的な評価
<p>〈職員の対応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動が早くて良い。 ・アトリウムの床コンセントを利用した際お客様が危なくないようコーンを立てただけ嬉しかった。 ・スライド投影のサイズ調整をしていただき上手く映すことができた。 ・やわらかい口調で親しみやすい。 ・手話や筆談などで丁寧に対応していただいた。 ・舞台や照明のアドバイスがありとても助かった。ステージ設営の対応や映像チェックもしていただき大変良かった。 ・体調不良の子どもの休養用に部屋を貸していただき助かった。 ・丁寧で親切に対応していただいた。 <p>〈施設設備〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミが見当たらない。 ・立地が良く使いやすい。利用料金が調度良い。 ・照明・音響がとてもよかった。 ・館内がとても明るく、お客様が迷う事なくお越しいただける。 ・目的に合わせた大きな部屋があり便利。ポットや湯飲みの貸し出しも便利。 ・マイク等音響設備が良い。 <p>〈申込手続〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下見をさせていただき良かった。

9 指定管理者による自己点検

<p>【成果のあった取組み・積極的に取り組んだ事項】</p> <p>(利用者目線のフレンドリーな施設づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の安全管理と公平公正な管理運営に努め、利用者目線を第一としたサービスの向上に努めた。 ・館内が分かりにくいという利用者からのご意見に対し、これまで様々な改善を試みてきたが、来館者の動線に合わせた場所に、ユニバーサルデザインを意識した施設案内表示を増設したことにより、一定の効果が見られた。 ・ほぼ全館でWi-Fi通信が可能となり、近年利用者からの要望が高まっていたWi-Fi環境の充実を図ることができた。 ・ホールを身近に感じてもらうことを目的に、主に中部地域の小学生（親子）を対象としたホールのバックステージツアーを開催した。 ・七夕イベントやクリスマスイルミネーション点灯式への保育園参加や、小中学校の施設見学やユニバーサルデザイン学習の案内など、園児・学生が館イベントや運営を体験していただくことができた。
<p>(安心・安全な施設運営)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回の消防設備と避難誘導設備の自主点検、及び安全衛生委員会による定期点検等を行い、危険箇所を洗い出してその対策を講じた。 ・消防訓練を入居団体・委託業者を含め年2回実施し、火災発生時の初期消火・来館者の避難誘導・関係機関への通報体制を整えている。訓練の当日は消防署立ち会いによる改善点等の指導を受け、より円滑で的確な消防・防災体制の構築を図った。 ・近年多発する河川氾濫による洪水被害に備えるため、給水式土嚢による浸水対策防災訓練を実施し、全職員の防災意識を高めた。 ・従来より館内の出入口に手指消毒液を設置しているが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い令和2年1月以降更、感染症対策の強化を図った。（新型コロナウイルス感染症対策行動計画の作成、職員のマスク着用、ドアノブ、手すり、机等の消毒、感染防止啓発のチラシ等館内掲示、ホームページによる周知等。） ・設備の点検・予防保全に努め、中長期整備計画を基に必要な改修・設備の更新を県へ要望、或いは会館で修理しながら施設の維持管理を行った。 ・倉吉パークスクエア内の施設（鳥取二十世紀記念館、鳥取県男女共同参画センター、倉吉交流プラザ、市営温水プール、食彩館、倉吉未来中心）による「倉吉パークスクエア会議」を毎月開催して情報共有を図るとともに、駐車場混雑時の対応を各施設と連携・調整を図りながら安全管理を行った。
<p>(効率的な施設運営)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設設備の保守点検等業務委託を、県民文化会館との2館一括契約や複数年契約とし、経費削減を図った。 ・来館者が「快適に安全」に過ごすことができる環境を提供することを第一としながら、省エネルギー、省資源への取り組みとして、節電、節水等に配慮しながら施設の管理運営に努めた。 ・鳥取県版環境管理システム（TEAS）Ⅱ種の更新登録を行い、職員に対する環境配慮への意識啓発や、利用者へも節水や空調設定温度の協力を啓発した。 ・令和元年度～3年度の電力の調達先を制限付一般競争入札により決定し、電気料金のコスト削減を図った。 ・経年劣化による設備の不具合が増加しているが、修理部材を購入して自前修理をすることにより、修繕費を抑える努力をした。
<p>(地域との連携、文化芸術拠点としての活動)</p> <p>倉吉未来中心のミッションである「人と人との交流促進及び地域の活性化」を達成するため、地域のこれからの活力ある“まちづくり”と心豊かな“ひとづくり”を目標とした「倉吉未来中心 未来つながるプロジェクト」及び文化振興財団主催事業、とりアート中部地区事務局業務に取り組んだ。</p> <p>「未来つながるプロジェクト」においては、地域の多様な団体の参画によるアートを中心とした複合型イベントの開催や、新しい利用形態の提案を兼ねた企画などの新機軸を盛り込み、想定以上の来場者となるなどの成果を上げた。</p> <p>また、文化振興財団主催事業（中部開催）においては、近年上演のなかったオーケストラ公演や劇団四季のミュージカル公演など、中部地域に居ながらにして日本トップクラスの舞台芸術に触れる機会を提供することが出来た。</p> <p>【「未来つながるプロジェクト」の主な取組】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ゴールデンウィークに開催した複合型アートイベントでは、県立博物館や鳥取短期大学を始めとした多くの団体やアーティストの趣向を凝らした企画により、家族連れを中心に半日で延べ2,187人もの方が来場し、「休日に家族で過ごす場所や時間」という地域の大きなニーズを感じることができた。 ②新たに単独貸出可能となった大ホールホワイエでの朗読劇では、国際声優コンテストに出場した高校生や地域に新たに旗揚げされたキッズ劇団の出演、鳥取短期大学生による投影イラストの制作などの若年層参画を企画のメインに据え、立ち見が出るほどの来場者となり、成果を上げた。併せて、新しい利用形態の提案も行うことができた。 ③未就学児から入場可能な親子・子ども向けコンサートではいつも高い集客率となっているが、令和元年度に開催した2公演（有料公演・無料公演各1回）もそれぞれチケット完売、定員満了となった。改めて地域の高いニーズを感じるとともに、それに応えるプログラムを提供することができた。 ④福祉機関との連携として開催している「母子生活支援施設」や「こども食堂」への訪問コンサートについては、新型コロナウイルス感染拡大の影響で1カ所（母子生活支援施設）のみの開催となったが、前年、前々年を上回る参加者数となり、楽器体験などの要素も盛り込みながら、アートを身近に感じてもらう機会を提供することができた。 ⑤美術作品の展示場所として整備した「みらいアートギャラリー」では、あいサポート・アート（障がい者アート）から地域の魅力を発信する写真作品の展示、地域の歴史素材にスポットライトを当てた展示まで幅広く展示し、多様なアートの鑑賞機会を提供できた。併せて、倉吉市内の観光施設との連携展示を開催し、倉吉未来中心と観光施設を結ぶことで街を人が回遊する動線を生み出し、街の活性化の一助となった。 <ul style="list-style-type: none"> ・文化振興財団主催事業としてオーケストラやミュージカルなどの質の高い舞台芸術の鑑賞機会を、また、マスコミ特別共催事業としてピアノやポップスなどの人気公演の鑑賞機会を提供した。併せて、児童養護施設に入所する子どもたちを公演へ招待し、自力での公演鑑賞が困難な子どもたちに鑑賞の機会を提供した。

・鳥取県総合芸術文化祭・とりアート」の中部地区企画運営委員会事務局として、事業の円滑な推進と実行委員への助言、サポートを行った。併せて、多様な事業を通じて、とりアートの目標である県内の文化芸術活動の裾野拡大と文化芸術の質の向上を図った。

・アトリウム喫茶の運営を従来より地域の福祉団体へ委託しているが、新たに自動販売機の設置委託先として福祉団体枠を設けた。

〔現在、苦慮している事項〕〔今後、改善・工夫したい事項・積極的に取り組みたい事項〕

〔現在、苦慮している事項〕

・施設設備の経年劣化が進んできているため、予防保全に努めるとともに鳥取県の中長期保全計画を基に計画的な更新に努めているが、予期せぬ故障等に対し、利用者に影響を与えない即座な対応ができるよう取り組んでいきたい。

・新型コロナウイルス感染拡大による利用キャンセルの影響は、施設利用料収入の減収のみならず、レストラン等の使用料収入や自動販売機の手数料収入にも影響を及ぼしている。感染拡大の収束が見えない中での収入確保と経費節減のバランスのとれ方や、常に変化する新型コロナウイルス感染対策への対応について苦慮している。

・新型コロナウイルス感染症により、WEB会議の増加やLIVE映像を別会場へ配信するなど、利用形態にも変化が生じている。これらの変化に対応可能な設備の充実と、対応職員の知識の向上が必要である。

・改修工事に伴う施設の一部休館により、利用料収入のみならず自動販売機やレストラン等の売上にも影響が生じる。今後の大規模改修に備え、効率的な運営と新たな資金調達等の対策が必要である。

〔今後、改善・工夫したい事項・積極的に取り組みたい事項〕

・倉吉未来中心のミッションである「人と人との交流促進及び地域の活性化」を達成するため、文化芸術を一つのツールとして、地域のこれからの活力ある「まちづくり」と心豊かな「ひとづくり」を目指す『未来つながるプロジェクト』をさらに推進していく。「まちづくり」の視点では、まず、街の賑わい拠点である「倉吉未来中心」が元気であることが重要であると考え、特に今年度はコロナ禍の真っ只中であるが、そのような中であってもwebやSNSを活用して前向きなメッセージを発信し、地域に活力を与えていく。そして、再び多くの人々が集うようになった時には、特に「ひとづくり」の象徴である子ども達の心をケアし、笑顔があふれるような企画の数々を提供できるよう、職員一丸となってプロジェクトに取り組んでいく。

・従来のホールボランティア制度を見直し、より様々な角度からの参画を狙って立ち上げた「未来中心サポーター」を早く軌道に乗せ、倉吉未来中心を拠点とした人々の交流とコミュニティづくりを推進していく。

・会館利用者や地域活動者を支援する目的で設けた「イベント相談窓口」の周知に努め、職員が持つ経験やノウハウを提供することで活動者等の“やってみたい”という気持ちを支援し、地域文化の下支えと活性化に寄与していく。

・利用者からの高い満足度は得られているが、満足度を高めている要因や不満を感じる要因が分析できるようなアンケートへ令和元年度より見直した。分析結果を参考としながら利用者ニーズの変化に合わせたサービスの充実を図っていく。

・現在の危機管理マニュアルを見直し、あらゆる災害を想定したマニュアルの作成と行動訓練の実施。

10 施設所管課による業務点検

項目	評価	点検結果
<p>〔施設設備の維持管理・緊急時の対応等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設設備の保守管理・修繕 ○施設の保安警備、清掃等 ○事故の防止措置、緊急時の対応 	4	<p>○消防設備等の自主点検や、安全衛生委員会による定期点検、消防署の立ち合いによる消防・避難誘導訓練等、外部機関による改善指導等を実施し、有事に備えた施設運営の安全管理体制の構築に日頃努めている。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の拡大が顕著となり始めた令和2年1月以降、速やかに行動計画の作成、職員のマスク着用、ドアノブ、手すり等の消毒、利用者への感染防止啓発のチラシ啓発を行うなど、既存の衛生管理体制(手指消毒液の設置等)を一層強化し、感染症への対策を講じ安全確保に努めた。</p> <p>○ユニバーサルデザインの施設運営を意識し、来館者の動線に合わせた場所に施設案内表示を増設するなど、利用者の声を聴きながら誰もが利用しやすい施設環境づくりに取り組んだ。</p>
<p>〔施設の利用の許可、利用料の徴収等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用の許可 ○適正管理に必要な利用者への措置命令 ○利用料金の徴収、減免の実施 	3	<p>○適切に対応されていると認められる。</p>
<p>〔その他管理施設の管理に必要な業務〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用受付・案内 ○附属設備・備品の貸出し ○利用指導・操作 	4	<p>○ホールの空き情報をHPやSNSで積極的に更新案内し、また、催事内容によって開館時間外対応や臨時開館に応じるなど、利用者のタイムリーな施設活用と利便性を考慮し柔軟に対応している。</p> <p>○施設館内のWifiスポットを増設したことにより、全館でのWifi環境が整備され、WEB会議対応等、利用者の利便性向上及び活動機会の拡大に寄与した。</p> <p>○施設運営者としてのノウハウや専門性を活かし、イベント全体の企画立案、広報等から舞台技術や設備に関する助言指導に至るまで、幅広い観点で利用者の相談や協力に応じ、施設利用に係る付加価値の向上に寄与している。</p>
<p>〔利用者サービス〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○開館時間、休館日、利用料金等 ○利用者へのサービス提供・向上策 ○施設の利用促進 ○個人情報保護、情報公開 ○利用者意見の把握・対応 	4	<p>○大ホールの割引プランを実施するなどホール利用を促進し、県内の文化芸術活動の推進に努めた。</p> <p>○Facebookやインスタグラム等を活用し、タイムリーにイベントや施設利用等の情報を発信し、利用機会のすそ野を広げ、利用促進に努めた。</p> <p>○空調の温度調整や、床コンセント使用時のコーン設置、体調不良のお客様に対する休養スペースの提供等、施設整備期間にあっても、既設設備の応用や代替案を提案するなどし、施設利用者の声に対し迅速・誠実に対応した。</p>
<p>〔活性化事業の実施状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実施内容 	4	<p>○「未来につながるプロジェクト」として、地域の多様な団体の参画によるアートを中心とするイベントや、施設の新たな利用形態を提案するイベントなど、以下の事業を実施し、想定を上回る来場があり、ミッション達成につながる成果を上げている。</p> <p>①複合型アートイベント 県立博物館や鳥取短期大学をはじめとした多くの団体やアーティストによる“複合型アートイベント”を実施した。</p> <p>②国際声優コンテスト出場者等による朗読劇 国際声優コンテストに出場した高校生やキッズ劇団の出演等による朗読劇、若年層参画の企画をメインに据えたイベントを実施した。</p> <p>③福祉施設での訪問コンサート 福祉機関と連携し、母子生活支援施設や子ども食堂等での訪問コンサートを実施した。楽器体験などの要素を盛り込みながら、文化芸術の発信を施設にとどめず、地域の文化芸術拠点としての活動の場、提供の場を幅広く展開した。</p> <p>④みらいアートギャラリーの展示 美術作品の展示場所として、あいサポートアートから地域の写真作品、歴史素材の展示を観光施設との回遊に結び付けることで、文化資源の発信と地域活性化に寄与した。</p>
<p>〔収入支出の状況〕</p>	4	<p>○年度末にかけて新型コロナウイルス感染症による利用キャンセル等の影響を受けたものの、利用料収入(41,543千円)は前年度並みを維持(208千円)された。今後は、感染症拡大の影響がより顕著となることも予想されるが、地域の文化施設拠点として、引き続き文化芸術の発信・醸成と、利用者の安心安全を両立しながら地域の役割に寄与していただきたい。</p>
<p>〔職員の配置〕</p>	3	<p>○協定の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。</p>

<p>〔会計事務の状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○不適正事案や事故等の有無 ○業務報告書(月次)における内部検査結果 ○利用料金等に係る適正な会計事務 (利用券、利用券管理簿の管理など) ○必要な規程類の整備 (会計規程、協定書等で整備が定められている規程など) 	3	○適切に対応されているものと認められる。
<p>〔関係法令の遵守状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関係法令に係る行政指導等の有無等 <ul style="list-style-type: none"> ・労働関係法令 (労働基準、労働安全、障がい者雇用等) ・環境関連法令 (大気、水質、振動、廃棄物等) ・その他の法令 ○県内発注(鳥取県産業振興条例) 	3	○関係法令に沿って、適切に対応されているものと認められる。 ○来館者への快適な施設環境の提供を第一としながら、省エネルギーや省資源への取り組みを進め、鳥取県版環境管理システムⅡ種の更新登録を行うなど、環境配慮への意識醸成・啓発に取り組んでいる。
<p>〔県の施策への協力〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○障がい者就労施設への発注 	3	○飲食事業の運営(アトリウム喫茶)に係る施設の部分使用契約を障がい者福祉団体と締結するとともに、セミナールームの襖・障子張り替え等をシルバー人材センターに発注している。
<p>総 括</p>	3.5	○地域における文化芸術活動の創造・情報発信拠点として、利用者の利便性や文化芸術に関わる人々のすそ野の拡大に取り組んでいることが評価できる。 ○新型コロナウイルス感染症の影響が見通せない中であっても、文化芸術の重要性や人々への情報・活動の場の拠点として、引き続き地域の活性化に向けた取り組みを進めていただきたい。

- 《評価指標》 5 : 協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画・目標を上回る実績があり、優れた管理運営がなされている。
- 4 : 協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。
- 3 : おおむね協定書の内容どおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
- 2 : 協定書の内容に対して不適切な事項が認められ、また、計画・目標を達成していない。
- 1 : 協定書の内容に対して重大な違反事項が認められる、指摘済みの不適切事項が放置されている、計画・目標、前年度実績を大きく下回っているなど、大いに改善を要する。
- ※総括欄は、各項目の平均の小数点以下第2位を四捨五入した数値を基本に、総合的に評価する。